

2013.10.30

心の癒し～室内楽特別演奏会  
 ニューヨーク・フィルの仲間たち 2014

## 《開催概要》

弊社では、中外製薬(株)の協賛・提供により、アメリカが誇る名門オーケストラ、「ニューヨーク・フィルハーモニック」のトップ・アーティストによる室内楽演奏会を、2014年2月14日(金)渋谷区文化総合センター大和田 さくらホールにて開催します。

同公演は、ニューヨーク・フィルハーモニックのアソシエイト・コンサートマスターを筆頭に、アシスタント・コンサートマスター、ヴィオラ首席、チェロ首席、クラリネット副首席など、オーケストラの中心メンバーによって特別編成されたアンサンブルによる一夜限りの特別コンサートであり、5年ぶり3度目の開催となります。

また、ゲスト・アーティストは今年ヨーロッパから日本へ本拠地を移し、ますます充実した演奏活動を展開する若手ピアニスト、小林有沙。2006年、2009年に続き3回目の共演となります。

ニューヨーク・フィルの仲間として長年培った最高のアンサンブル力と、ベルリン、ウィーンでの研鑽を経て、さらに成熟した小林のピアノで、まさに室内楽の醍醐味を堪能できる、珠玉のプログラムをお送りします。どうぞご期待ください。

○公演ウェブサイト <http://www.1002.co.jp/nypchamber2014/>

名 称	心の癒し～室内楽特別演奏会 ニューヨーク・フィルの仲間たち 2014
日 時	2014年2月14日(金) 19:00 開演／18:30 開場
会 場	渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール
協 賛	中外製薬株式会社
後 援	社団法人全国腎臓病協議会
制 作	株式会社 1002

## 本公演についてのお問い合わせ

〒102-0083

東京都千代田区麹町 1-3-7 日月館麹町ビル 3F

株式会社 1002 公演担当=徐 明淳[シュ ミンチュン]／原 肖奈[ハラ ニナ]

TEL 03-3264-0244 / FAX 03-3264-1788

MAIL 徐 [hsumc@1002.co.jp](mailto:hsumc@1002.co.jp)／原 [nina@1002.co.jp](mailto:nina@1002.co.jp)

## 《公演概要》

### プログラム

R.シューマン／ピアノ五重奏曲 変ホ長調 Op.44

L.バーンスタイン／クラリネット・ソナタ

C.M.v.ウェーバー／クラリネット五重奏曲 変ロ長調 Op.34

### 出演者

#### 【ヴァイオリン】シェリル・ステイプルス Sheryl Staples

[ニューヨーク・フィルハーモニック アソシエイト・コンサートマスター]

ロサンゼルス生まれ。クリーヴランド管弦楽団アソシエイト・コンサートマスター、パシフィック交響楽団、サンタバーバラ室内管弦楽団コンサートマスターを経て、1998年にアソシエイト・コンサートマスターとしてニューヨーク・フィルハーモニックに入団。これまで、ソリストとして同楽団及びクリーヴランド管弦楽団、ロサンゼルス・フィルハーモニックなど40以上のオーケストラと協演を果たす。また、E.アックス、Y.ブロンフマンなど世界一流のアーティストと共演し、サンタ・フェ、アスペン、ブライトスター、シアトルほかアメリカ各地で開催された室内楽音楽祭に出演するなど、室内楽奏者としても活躍。ジュリアード音楽院にて後進の指導にもあたっている。ヴァイオリンはガルネリ・デル・ジェスが1728年に製作した「カートマン」を使用。

#### 【ヴァイオリン】ミシェル・M・キム Michelle M.Kim

[ニューヨーク・フィルハーモニック アシスタント・コンサートマスター]

南カリフォルニア大学ソーントン音楽学校卒業。R.リップセット、大山平一郎、H.グロニエに師事。2001年ニューヨーク・フィルハーモニックのアシスタント・コンサートマスターに就任。ソリストとして、これまでニューヨーク・フィルハーモニック、ニュージャージー交響楽団、サンタバーバラ室内管弦楽団、パシフィック交響楽団などと協演。また、室内楽奏者として、C.リン、C.テツラフ、P.ズーカーマン、M.ロストロポーヴィチ、L.ハレル、G.ホフマン、L.ラン、Y.ブロンフマンなど世界一流アーティストと共演するほか、ロゼッティ弦楽四重奏団の第1ヴァイオリン奏者を務める。サンタ・フェ室内楽音楽祭、ラ・ホイヤ室内楽音楽祭、ストリングス・イン・ザ・マウンテン音楽祭、ブラーボ・フェスティバルなどに出演。マネス音楽院で後進の指導にもあたる。

#### 【ヴィオラ】シンシア・フェルプス Cynthia Phelps

[ニューヨーク・フィルハーモニック ヴィオラ首席]

1992年首席ヴィオラ奏者としてニューヨーク・フィルハーモニックに入団。同楽団のソリストとしてカーネギー・ホール、エイヴリー・フィッシャー・ホール、ケネディー・センター、ムジックフェライン、ロイヤル・フェスティバル・ホール、コンセルトヘボウなど世界各地で出演するほか、ミネソタ管弦楽団、香港フィルハーモニー管弦楽団などとも協演。また、室内楽奏者として、リンカーン・センター室内楽協会、ボストン室内楽協会に所属し、ガルネリ弦楽四重奏団、アメリカン弦楽四重奏団、プラハ弦楽四重奏団などと共演。マルボロ、モーストリー・モーツァルト、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン、クレモナなど著名な音楽祭にも出演。演奏活動の傍ら、ジュリアード音楽院、マンハッタン音楽院で後進の指導にもあたっている。

#### 【チェロ】カーター・ブレイ Carter Brey

[ニューヨーク・フィルハーモニック チェロ首席]

アメリカを代表するチェリストの一人。ジョンズ・ホプキンス大学ピーバディ音楽院、イェール大学卒業。1981年のロストロポーヴィチ国際チェロ・コンクール入賞を皮切りに、世界的に注目を浴びる。以来、C.アバド、C.v.d.ホナーニなど著名な指揮者の元で、世界主要オーケストラと協演。96年ニューヨーク・フィルハーモニックの首席チェリストに就任し、K.マズアをはじめ、Z.メ

ータ、L.マゼール、A.ギルバートなど歴代音楽監督のほか、A.プレヴィン、C.ティーレマン、C.エッセンバッハなどの指揮で、ソリストとして同楽団と協演。また、東京クワルテット、エマーソン弦楽四重奏団などとの共演や、世界各地の室内楽音楽祭への出演など、室内楽奏者としても活躍している。チェロはイタリアの楽器職人 J.B.ガダニーニが 1754 年ミラノで製作した楽器を使用。

#### 【クラリネット】マーク・ヌーチョ Mark Nuccio

[ニューヨーク・フィルハーモニック クラリネット副首席]

コロラド生まれ。デンバー交響楽団、ピッツバーグ交響楽団などを経て、1999 年にアソシエイト・プリンシパル・クラリネット奏者及びソロ Es 管クラリネット奏者として、ニューヨーク・フィルハーモニックに入団。2009-13 年首席代理を務める。01 年カーネギー・ホールでのリサイタルでニューヨーク・デビュー。アメリカ国内のオーケストラとの協演、国際クラリネット協会定例会及び日本、台湾、ドイツでのリサイタルやマスタークラス開催などソリストとして活躍するほか、ストリングス・イン・ザ・マウンテン音楽祭などで室内楽奏者としても精力的に活動している。また、スタジオ・ミュージシャンとして、数多くの映画音楽、TV コマーシャルの録音に参加。06 年に初のソロ・アルバム「Opening Night」(Dorian レーベル)をリリース。マンハッタン音楽院で後進の指導にもあたる。

#### ゲスト・アーティスト

#### 【ピアノ】小林有沙 Arisa Kobayashi

桐朋女子高等学校音楽科を経て同大学に進学したのち、ローム音楽財団より奨学金を得てベルリン芸術大学へ留学。卒業後、ウィーン国立音楽大学ポストグラデュエートコースにてさらに研鑽を積み、2013 年、日本に拠点を移す。在学中数々の賞を受賞、12 年にはモロッコ王妃国際ピアノコンクールにて 13 人審査員満場一致で優勝、併せて最優秀ドビュッシー賞を受賞。指揮者山田和樹、瀬山智博各氏らとの共演、銀座王子ホールでのリサイタルやニューヨーク・フィル首席奏者らとの室内楽演奏会は雑誌「ショパン」や「音楽の友」でも好評を得た。現在、リサイタルや室内楽、協奏曲等で活躍するほか、共演ピアニストとしても注目されている。13 年 12 月オクタヴィアレコードより CD デビュー。これまでに岡本美智子、有森博、横山幸雄、P.ドヴァイヨン、J.イラチェックの各氏に師事。日本ショパン協会正会員。

#### 料 金

全席指定・消費税込

4,500 円

#### 前 売 開 始

2013 年 11 月 8 日(金)

#### プ レ イ ガ イ ド

チケットぴあ:0570-02-9999 <http://pia.jp/t/> (Pコード:214-160)

e+(イープラス):<http://eplus.jp/>

CN プレイガイド:0570-08-9990 <http://www.cnplayguide.com/>

東京文化会館チケットサービス:03-5685-0650 (10:00~19:00/休館日休業)

#### お 問 い 合 せ

株式会社 1002[イチマルマルニ] 03-3264-0244 <http://www.1002.co.jp/>

※都合により、出演者・プログラムが変更になる場合がございます。

※未就学児のご入場はご遠慮ください。